

株式会社ミツウロコグループホールディングス

〒104-0031

東京都中央区京橋三丁目1番1号

TEL:03-3275-6300(代表) FAX:03-3275-6350

mail:ir-sec8131@mitsuuroko.co.jp

▲ 株式会社ミツウロコグループホールディングス

第108期 株主通信

2016年4月1日～2016年9月30日(中間期)



●本書では、視認性、判読性に優れたユニバーサルデザインフォントを使用しています。



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C013080



ちびまる子ちゃん
©さくらプロダクション/日本アニメーション

「ちびまる子ちゃん」(フジテレビ系列)で
ミツウロコ企業広告CMオンエア中!

Investors' Note ～Mitsuuroko Overview～ 108th

感動を、 次々と。

私たちは、いつの時代も暮らしのエネルギーとなる商品、
未来を拓くチカラとなるサービスを、
より多くの人へ街へ、届け続けます。



エネルギー事業

LPガス、石油、新エネルギー機器等の販売、
物流サービス



電力事業

風力発電、バイオマス発電、メガソーラー
発電、小売電気事業での電気販売



PM / 健康・スポーツ事業

オフィスビル、マンション等の賃貸、複合
商業施設の経営



フード&プロビジョンズ事業

清涼飲料水製造・販売、飲食店や施設内
売店・食堂の運営、プレミアムバーガー
レストランの経営等



リース事業

一般事務用機器、情報通信機器、産業用
機械、輸送機器等のリース



業務サポート事業

料金収納代行、システム開発等



保険代理事業

火災保険、損害保険、生命保険等、各種保険
の取り扱い

DATAで見るミツウロコグループ

売上高

1,910億円 第107期連結
2015年4月1日～2016年3月31日

経常利益

46億円 第107期連結
2015年4月1日～2016年3月31日

設立

90年

従業員数

1,692名 2016年9月末

エネルギー事業店舗数

83店舗 2016年9月末

フード&プロビジョンズ事業店舗数

172店舗 2016年9月末

LPガス供給軒数

約80万軒 2016年9月末

再生可能エネルギー発電量／年間

2億3千万kWh ※現在建設中及び計画中
発電所を含む

これからも、長期的な視点で新たな事業に 挑戦します。

第108期（2017年3月期）中間期の業績について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済情勢は、政府・日銀による経済政策や金融政策などを背景に、企業収益や雇用・所得環境において緩やかな改善傾向が見られるものの、円高基調や英国のEU離脱問題などによる世界経済の下振れ懸念から、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く経営環境におきましては、LPガス仕入価格が下落傾向にあるものの、消費者の「省エネ意識の定着」と、「省エネ機器の普及」から世帯あたりのエネルギー使用量は減少傾向にあり、さらには小売市場における消費者の選択志向が強まるなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

こうした状況下、LPガス仕入価格の下落や石油製品全般において原油価格が下落した影響を受けた一方で、当社グループ

は経営の合理化を進めるとともに、エネルギー事業の拡大を図るため新規顧客の開拓や各事業での積極的な展開に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比3.3%減の895億79百万円、営業利益は前年同期比533.2%増の8億45百万円、経常利益は前年同期比86.0%増の13億11百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比11億47百万円増の8億73百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億73百万円）となりました。

当社グループでは、平成28年4月よりスタートした低圧電力自由化に伴い、ミツウロコグリーンエネルギー株式会社による電力小売、電力卸売及び需給調整サービス等による他社の電力事業の支援の他、ミツウロコグループのLPガス販売会社を通じての電力小売を開始しております。家庭用電力は「ミツ

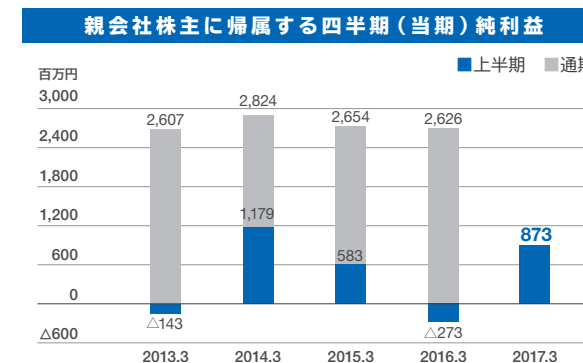
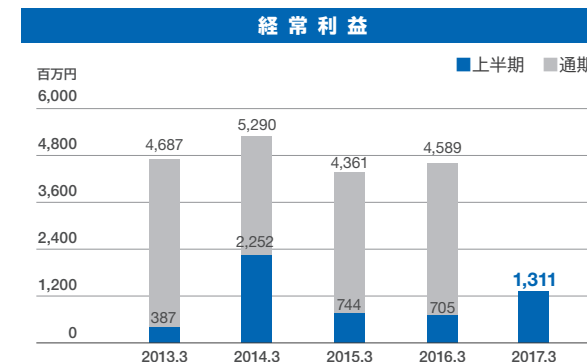
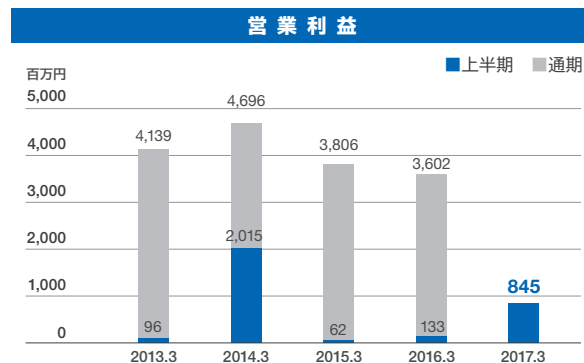
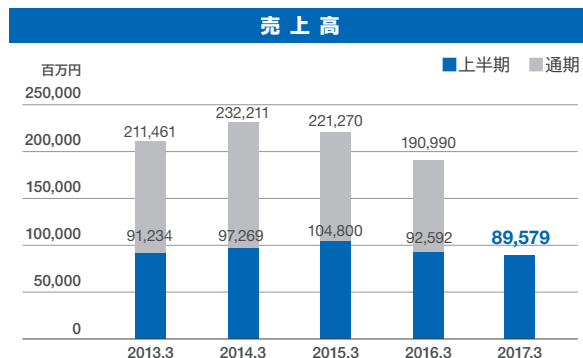
ウロコでんき」として提供を開始し、進化するエネルギープロバイダーとして電力事業においても充実したサービスを提供しております。また、エネルギー周辺事業では家庭用燃料電池、蓄電機器の普及や「ミツウロコ光」、「ミツウロコnet」、「学校防犯システム」の拡販に努め、お客様に安心・安全・快適なサービスを提供しておりますが、今後も、長期的な視点に立って新たな事業に挑戦し、「豊かなくらしのにないて」として、地域社会に愛され、全てのステークホルダーにとっての価値向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの経営活動にご理解をいただき、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 グループ CEO 田島 晃平

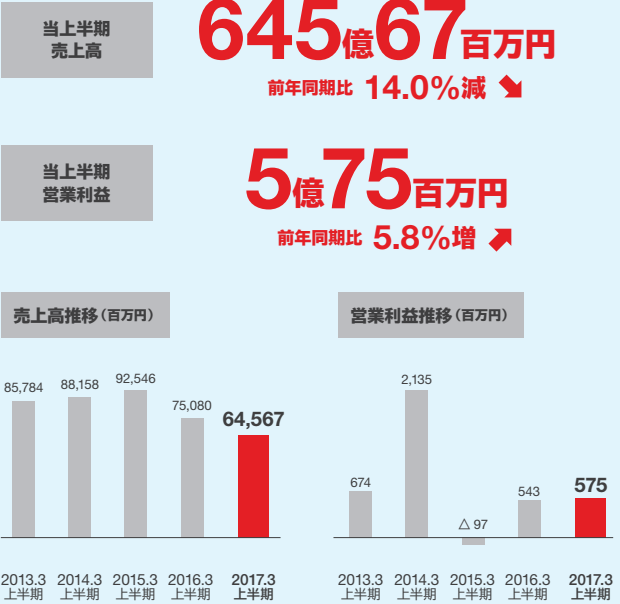


業績ハイライト



エネルギー事業

LPガス事業については、前期より神原ミツウロコ株式会社設立による初の四国進出や株式会社ミナミ燃料の株式取得による草津エリアでのLPガス等の顧客獲得など、営業強化に取り組んでいます。石油事業では、独自ブランドの中古車買取店、くるま買取「カークル」の新規オープンや、これまでラビットフランチャイズ店として展開していた店舗の「カークル」への転換などにより中古車買取事業を拡大しました。しかし、LPガス仕入価格の下落や石油製品全般において原油価格が大幅に下落した影響により売上高は前年同期比14.0%減の645億67百万円、営業利益は前年同期比5.8%増の5億75百万円となりました。



Topics

エネルギー事業の
サービス拡充

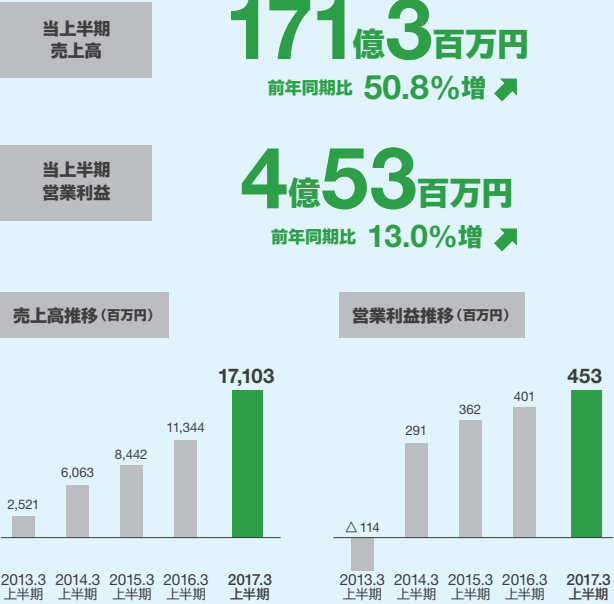
家庭用LPガスお客様向け駆けつけサービス
「ミツウロコあんしんバリュー」の提供開始

ミツウロコは、SOMPOホールディングスグループの株式会社プロダクト・ワランティ・ジャパンとの提携により、家庭用LPガス需要家向けの新サービス「ミツウロコあんしんバリュー」の提供を開始しました。「ミツウロコあんしんバリュー」は、お客様がお使いのガス機器について10年間無料で修理が受けられる「ガス機器延長保証サービス」や、水まわり・カギのトラブルに無料で対応する「ホームアシスタンスサービス」、ホテルや温泉・グルメ・レジャーなど全国約150,000の施設を優待料金で利用できる「ミツウロコ優待サービス」などのサービスを月額500円（税別）で受けられるものです。



電力事業

小売電気事業では、2016年4月よりスタートした低圧電力自由化に伴い、市場での低廉な電力への注目度の高まりから従前の高圧電力販売の需要も増加し、売上高は前年同期比50.8%増の171億3百万円、営業利益は前年同期比13.0%増の4億53百万円となりました。



Topics

「ミツウロコでんき」
スタート

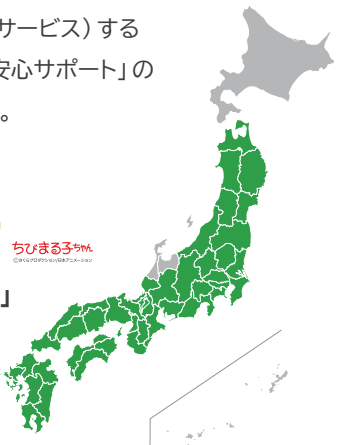
2016年4月より家庭用電力「ミツウロコでんき」
の提供を開始。
2016年10月にはアフターサービスを拡充

2016年4月から、ミツウロコと、特別高圧・高圧分野で平成27年度に約10億キロワット時の販売実績のあるミツウロコグリーンエネルギーが低圧部門を対象に、家庭用電力「ミツウロコでんき」の提供を開始し、現在までに約30,000件のお客様に加入いただいております。

また、10月には東京電力パワーグリッド株式会社との業務提携により、東京電力管内の「ミツウロコでんき」需要家宅内で、分電盤や電線、コンセントなどの設備に起因するトラブルが発生した際、24時間365日体制で担当者が駆けつけ原則無償でアフターサービス（駆けつけサービス）する「ミツウロコでんき安心サポート」の提供を開始しました。

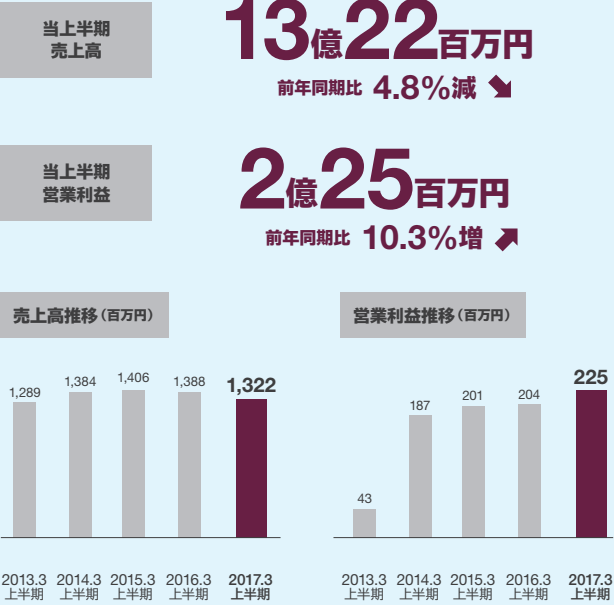


「ミツウロコでんき」
提供エリア
(2016年10月現在)



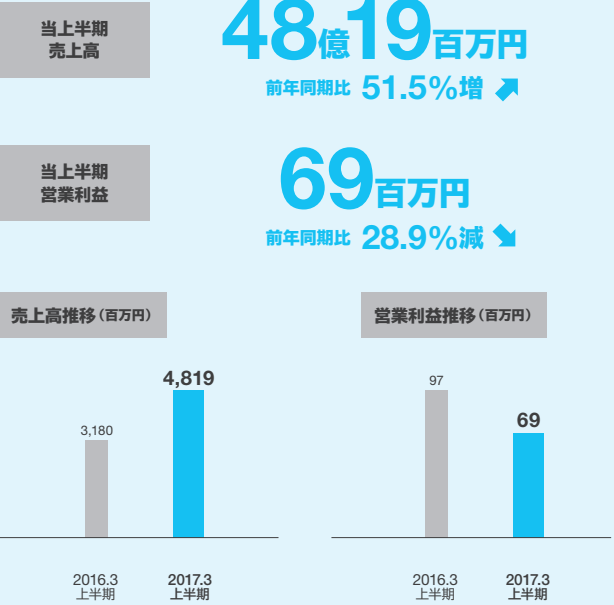
PM/健康・スポーツ事業

健康・スポーツ事業では、オープン8年目を迎える横浜駅西口複合商業施設「HAMABOWL EAS（ハマボール イース）」において各種キャンペーンを開催し、温浴施設「SPA EAS（スパ イース）」及びボウリング場「Hamabowl（ハマボール）」では、おもてなし品質向上とWeb集客に注力しました。また、PM（不動産賃貸）事業では、マンションやオフィスビルの入居率向上をめざしリノベーション等施策を積極的に推進した一方で、賃貸用不動産の入替を行ったことにより、不動産賃貸収入は減少しました。その結果、売上高は前年同期比4.8%減の13億22百万円、営業利益は前年同期比10.3%増の2億25百万円となりました。



フード&プロビジョンズ事業

米国カリフォルニア発プレミアムバーガーレストランチェーン「カールスジュニア」は、2016年10月に2号店となる「カールスジュニアららぽーと湘南平塚レストラン」をショッピングモール内に初出店しました。飲料水事業では、2015年の岐阜養老工場の取得に伴い、西日本エリアの営業を強化し、販売量増加につなげています。また、コカ・コーラグループからの施設内売店及び食堂の追加取得や、総合メディカル株式会社からの病院内売店の取得など、積極的に店舗数を拡大しています。その結果、売上高は前年同期比51.5%増の48億19百万円、営業利益は前年同期比28.9%減の69百万円となりました。



カールスジュニア2号店
OPEN

ららぽーと湘南平塚にカリフォルニア発
プレミアムバーガーレストランチェーン
「カールスジュニア」2号店OPEN

カールスジュニアジャパンは、2016年10月、カリフォルニア発プレミアムバーガーレストランチェーン「カールスジュニア」の2号店を商業施設「三井ショッピングパーク ららぽーと湘南平塚」内にオープンしました。

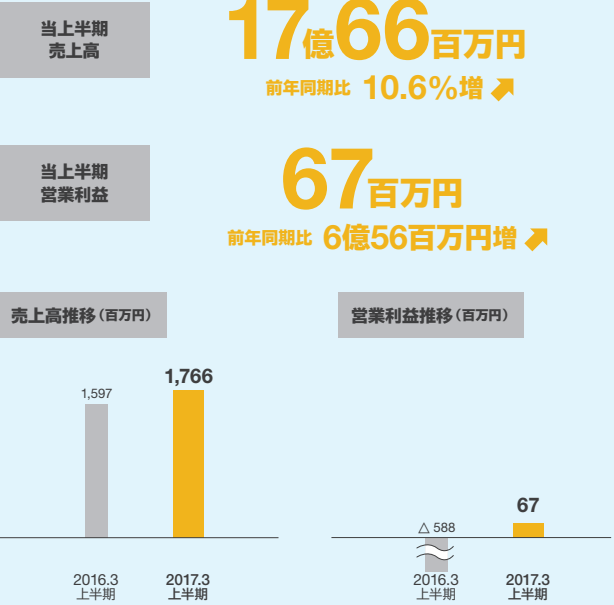
ららぽーと湘南平塚レストランは、ショッピングモール内初出店となり、幅広い世代のお客様に対し、ゆったりとした空間に湘南のイメージとマッチするカリフォルニアテイストで統一された店内で、アンガス牛100%のパティを使用したバーガーや、店内で手作りされるチキンテンダーなど、新鮮で高品質なメニューをお楽しみいただいております。



※2017年3月期より「その他事業」につきましては、フード&プロビジョンズ事業の拡大に鑑み、経営区分の見直しを行い、「フード&プロビジョンズ事業」「その他事業」に報告セグメントを変更しております。

その他事業

リース事業における取扱量の伸長及び前年度に計上していた貸倒引当金繰入額がリスク債権の減少に伴い大幅に減少したことや、東日本電信電話株式会社（NTT東日本）とのコラボレーションによる光通信を活用したミツウロコ光に新たに集合物件向け「ミツウロコnet」を加え、通信サービス拡充による顧客開拓を行ったこと等により、売上高は前年同期比10.6%増の17億66百万円、営業利益は前年同期比6億56百万円改善の67百万円（前年同期は5億88百万円の営業損失）となりました。



エネルギー事業責任者インタビュー

「ミツウロコでんき」で顧客基盤を広げ、
エネルギー事業の価値向上につなげます。

株式会社ミツウロコ 執行役員 営業統括部長

古矢 大輔

新たな地域への展開でエネルギー事業の
商圏拡大を進める

エネルギー事業を行う株式会社ミツウロコで、営業を統括しております古矢大輔です。エネルギー事業の主力であるLPガスは、内需の成長が見込めない中で厳しい事業環境が続いていますが、ミツウロコでは昨年、徳島県のLPガス販売事業を承継し「神原ミツウロコ株式会社」として初めて四国に進出しました。また群馬県草津地域大手の取引先の株式を取得し、新たな顧客基盤を獲得するなど、シェアを伸ばす取り



組みを行っています。今後も収益性の高い案件は積極的に検討して顧客基盤を広げると共に、現在1,730の代理店ネットワークを近い将来に2,000まで増やして、商圏の拡大と効率的なマーケットの構築を進めていきたいと考えています。

2016年4月より開始した「ミツウロコでんき」で、
新たなお客様を獲得

今年4月より開始した低圧電力の小売自由化に伴い、家庭向けに「ミツウロコでんき」の販売を始めました。既存事業とのしがらみが少ない電力小売事業は、新しいお客様を獲得するのに最適の商材です。一般家庭の台所にお邪魔してLPガスや住宅設備機器などを提供しながら長年培ってきた信頼感や、「全国ミツウロコ会」代理店のネットワークを最大の強みとする当社は、「ミツウロコでんき」についてもインターネットではなく、主に対面営業による販売を行っています。長く使用している「ちびまる子ちゃん」のキャラクターも親しみをもって

いただくのに役買っています。在宅時間の比較的長い世帯向けに、使えば使うほどお得になる料金体系をアピールし、現在までにミツウロコグループ全体で約3万世帯のお客様に加入いただいております。2016年度末の目標である4万件が視野に入ってきました。4月の自由化後の消費者の新電力への切り替え自体は、市場全体で3パーセント程度に留まっており、拡大余地は未だ大きいと思われます。今後更に営業に注力し、中期的には20万件の加入を目指していく考えです。薄利で競合も激しい事業ですが、「ミツウロコでんき」単独で利益を出す事業として成り立つようにしたいと考えています。

サービス拡充の一方で、事業構造を筋肉質に変革

「ミツウロコでんき」をご契約いただいたご家庭にはスマートメーターが設置されるので、これを利用したHEMS（Home Energy Management System/家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム）による付加価値サービスの提供

が可能となります。10月には東京電力パワーグリッド株式会社との業務提携により、宅内で発生した設備に起因する停電などのトラブルに対する駆けつけサービス「ミツウロコでんき安心サポート」の提供を開始しました。エネルギーシステム改革に伴いLPガス料金も注目を浴びる流れになりつつあります。当社はこれら新しいサービスの展開を機に、透明性の高い料金体系による営業体制を構築してまいります。LPガスと電気、通信サービス「ミツウロコ光」など複数のインフラをご契約いただけるお客様向けにはセット割引の提供なども考えています。

商材の充実と並行して、物流面などではコストの合理化を進め、筋肉質な利益構造の構築を図っていきます。LPガスの需要自体は伸び悩むなかでも、ミツウロコグループの商権を広げて現在約80万件の顧客基盤を更に拡大し、多様なサービスを提供することで一世帯当たりの収入を増やし、そしてコスト構造をスリムにしていくことで、エネルギー事業の価値向上につなげて行きたいと考えています。

安心・安全への取り組み

『平成28年度LPガス消費者保安功績者表彰』において「経済産業省商務流通保安審議官表彰」を受賞しました。

本表彰は、LPガスの保安の高度化を図るため、自主的な保安活動を積極的に推進し、顕著な功績をあげたLPガス販売事業者等を表彰するものであり、LPガスによる一般消費者等の事故を撲滅することを目的としています。

ミツウロコグループでは、昨年のミツウロコ置賜店に続き、北海道ミツウロコ札幌北店及び北広島店が、「保安優良LPガス販売事業者」として「経済産業省商務流通保安審議官表彰」を受賞しました。

ミツウロコグループは、これからもお客様に信頼される企業となるよう、安心・安全の確保に全社的に取り組んでまいります。



社会的貢献活動

ミツウロコグループは「豊かなくらしのにないて」として、様々な社会貢献活動に取り組んでいます。

- ①4月14日に発生した熊本地震の被災地支援のため、ミツウロコビバレッジでは農林水産省からの要請に基づき、PETボトル天然水（500ml 646ケース・2L 10,240ケース）を被災者の皆様に提供いたしました。
- ②従前より行っている「ミツウロコの森 なるさわ」の清掃活動に加え、今年度よりミツウロコビバレッジ岐阜養老工場の採水地である岐阜県海津市南濃町の環境美化活動の一環として、「ミツウロコの小径（こみち）」の清掃活動を実施しました。「ミツウロコの小径（こみち）」は、当社90年記念事業の一環として、ネーミングライツ事業により月見の森遊歩道の命名権を取得したものです。



連結財務情報

四半期連結損益計算書（要旨）

科 目	（単位：百万円）	
	当第2四半期 連結累計期間 2016年4月 1日から 2016年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 2015年4月 1日から 2015年9月30日まで
売上高	89,579	92,592
売上原価	75,529	79,612
売上総利益	14,049	12,979
販売費及び一般管理費	13,204	12,846
営業利益	845	133
営業外収益	700	788
営業外費用	234	217
経常利益	1,311	705
特別利益	55	69
特別損失	75	843
税金等調整前四半期純利益（△は純損失）	1,290	△69
法人税、住民税及び事業税	491	521
法人税等調整額	△67	△348
四半期純利益（△は純損失）	867	△242
非支配株主に帰属する四半期純利益（△は純損失）	△5	31
親会社株主に帰属する四半期純利益（△は純損失）	873	△273

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

科 目	（単位：百万円）	
	当第2四半期 連結累計期間 2016年4月 1日から 2016年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 2015年4月 1日から 2015年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,988	3,103
投資活動によるキャッシュ・フロー	△826	△1,560
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,160	△1,493
現金及び現金同等物の 四半期末残高	36,151	36,927

当第2四半期のポイント

- ① 電力事業の高圧電力販売の需要増加及びフード＆プロビジョンス事業の事業拡大に加え、その他事業において前年度に計上していたリスク債権の減少に伴う販売費及び一般管理費の減少等による営業利益の増加により親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比で11億円増加しました。
- ② キャッシュ・フローの状況は、売上債権の減少及び法人税等の支払額減少により営業活動でプラス29億円、固定資産の取得等により投資活動でマイナス8億円、長期借入及び借入返済、また配当金の支払い等により財務活動でマイナス31億円となりました。
- ③ 総資産は、売上債権の減少等により前年度末比33億円の減少、負債は、長期借入金の減少等により前年度末比28億円の減少、また純資産は、配当金の支払い及びその他有価証券評価差額金の減少等により前年度末比4億円の減少となりました。

四半期連結貸借対照表（要旨）

科 目	（単位：百万円）	
	当第2四半期 連結会計期間 2016年9月30日現在	前連結会計 年度 2016年3月31日現在
資産の部		
流動資産	60,633	62,749
固定資産	64,470	65,693
有形固定資産	35,133	35,805
無形固定資産	3,183	3,457
投資その他の資産	26,154	26,430
繰延資産	33	36
資産合計	125,137	128,479
負債の部		
流動負債	23,973	24,889
固定負債	29,178	31,155
負債合計	53,152	56,044
純資産の部		
株主資本	67,217	67,410
その他の包括利益累計額	4,499	4,707
非支配株主持分	268	317
純資産合計	71,984	72,434
負債純資産合計	125,137	128,479

会社概要・株式の状況

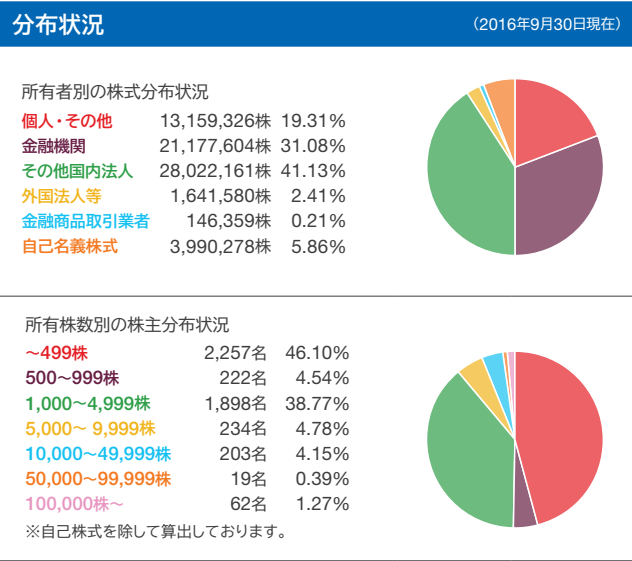
会社概要	
社名	株式会社ミツウロコグループホールディングス
英文社名	Mitsuuroko Group Holdings Co., Ltd.
主な事業内容	持株会社（グループの経営戦略・経営管理）
本社所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目1番1号
創立年月日	1926年（大正15年）5月10日
資本金	70億77百万円
従業員数	43名／連結：1,692名（2016年9月30日現在）

役 員			（2016年9月30日現在）
代表取締役社長	グループCEO	田島晃平	
代表取締役	グループCFO	渡邊雅人	
取締役		二見 敦	
取締役		児島和洋	
取締役		川上 順	
取締役		大森基靖	
取締役		田島 謙	
取締役（社外）		柳澤勝久	
取締役（社外）		松井 香	
監査等委員である取締役（常勤）		藤村孝明	
監査等委員である取締役（社外）		山田勝重	
監査等委員である取締役（社外）		菅原英雄	

株式の状況		（2016年9月30日現在）
発行可能株式総数	197,735,000株	
発行済株式の総数	68,137,308株	
株主数	4,896名	

上位株主				（2016年9月30日現在）
株主名	持株数（株）	持株比率（％）		
明治安田生命保険相互会社	5,544,000	8.64		
田島株式会社	4,327,000	6.75		
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	3,931,173	6.13		
東燃ゼネラル石油株式会社	3,894,061	6.07		
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口	3,201,700	4.99		
リンナイ株式会社	2,682,464	4.18		
橋本産業株式会社	2,425,300	3.78		
全国ミツウロコ会持株会	2,130,984	3.32		
株式会社パロマ	1,685,124	2.63		
株式会社三井住友銀行	1,676,331	2.61		

当社は自己株式を3,990,278株（「株式給付信託（BBT）」制度の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が保有する当社株式74,900株を除く）保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。



株主メモ			
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月開催		
基準日	定時株主総会	毎年3月31日	剰余金の配当 毎年3月31日
単元株式数	100株		
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部		
公告方法	電子公告により、当社ホームページ（http://www.mitsuuroko.com/）に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。		

郵便物送付先・お問い合わせ先	
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324（未払配当金の受領など）
ご注意	住所変更、単元未満株式の買取及び買増請求等のお申し出先につきましては、株主様が口座をお持ちの証券会社にお申し出ください。 ただし、株券電子化に際して、株券を証券会社の口座に入庫しなかった等の理由により、特別口座において管理されている株式の場合は、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行が住所変更等のお申し出先となります。

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続取扱店（住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		みずほ証券 本店、全国各支店及び営業所 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トランスラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店及び全国各支店、みずほ銀行	本店及び全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります。）
ご注意	支払明細発行については、右の「証券会社等に口座をお持ちでない場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。